平成25年度

幌延町教育委員会点検 • 評価報告書

平成26年12月 幌延町教育委員会

一 目 次 一

| はじ | めに | • | • | • | • | • | • | • | • | 2 |
|----|--------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 1 | 点検評価の趣旨 | • | • | • | • | • | • | • | • | 2 |
| 2 | 点検・評価の対象 | • | • | • | • | • | • | • | • | 2 |
| 3 | 点検・評価の方法 | • | • | • | • | • | • | • | • | 3 |
| 4 | 学識経験者の知見の活用 | • | • | • | • | • | • | • | • | 3 |
| 第1 | 教育委員会の活動状況 | • | • | • | • | • | • | • | • | 4 |
| 1 | 教育委員会委員名簿 | • | • | • | • | • | • | • | • | 4 |
| 2 | 教育委員会議等の開催状況 | • | • | • | • | • | • | • | • | 4 |
| 3 | 教育委員会議案、報告・審議内容 | • | • | • | • | • | • | • | • | 4 |
| 4 | 教育委員会教育委員の主な活動状況 | • | • | • | • | • | • | • | • | 6 |
| 5 | 教育委員会関係委員会の活動状況 | • | • | • | • | • | • | • | • | 6 |
| 6 | 教育委員会が交付した補助金一覧 | • | • | • | • | • | • | • | • | 7 |
| 第2 | 平成25年度幌延町教育委員会点検・評価書 | | | | | | | | | |
| | • 幌延町学校概要 | • | • | • | • | • | • | • | • | 8 |
| | ・学校教育の充実 | • | • | • | • | • | • | • | • | 9 |
| | ・幌延町社会教育施設の利用状況 | • | • | • | • | • | • | • | • | 14 |
| | ・社会教育 学び、参画、挑戦!次代を創る人づくり | • | • | • | • | • | • | • | • | 15 |
| 第3 | 点検評価に関する外部評価 | • | • | • | • | • | • | • | • | 19 |

はじめに

1 点検評価の趣旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会は毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を 果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の 規定に基づき、平成25年度の教育委員会の点検及び評価をまとめて報告するも のです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

- 第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により 教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定に より事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況 について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に 提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験 を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、平成25年度における教育委員会の主要な施策・事業のうち、幌延町教育行政執行方針の施策に基づく事務事業とし、次の14項目42の事業内容について評価を行っております。

□ 学校教育

- 1 確かな学力の推進
- 2 豊かな心の育成
- 3 健やかな体の育成
- 4 特別支援教育の推進
- 5 情報活用能力の育成
- 6 地域に触れて学ぶ教育の推進
- 7 信頼される学校づくり
- 8 教育環境の整備
- 9 安全教育の推進

- □ 社会教育 学び、参画、挑戦!次代を創る人づくり
 - 1 幌延の今を知るための学びの場づくり
 - 2 町や地域の営みに参画できる仕組みづくり
 - 3 子どもたちの自立を促す環境づくり
 - 4 次代に向けて挑戦し続ける風土づくり
 - 5 学習活動の拠点づくり

3 点検・評価の方法

この点検・評価にあたっては、平成25年度の施策、個別事業ごとに事業内容を示すとともに、事業成果や課題を分析し、今後の方向性を示しております。

4 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った活動状況や施策の実施状況について、点検・評価の客観性 を確保するとともに、今後の取組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経 験を有する方から点検・評価に関する意見・助言をいただきました。

外部評価委員

| / 1 01 | | <u> </u> | | | | | | | | | |
|--------|----|----------|----|----|---------------------------------------|------|---|----|---|---------------|-----|
| | 氏 | 名 | | | | | 役 | 職 | 名 | | |
| 富- | 上元 | 寿 | 彦 | 前 | 幌延町都 | 效育委員 | 会 | 委員 | | | |
| 高 | 木 | 健ス | 大郎 | 北淮 | ····································· | | | | | センター と部天塩研 | 究林長 |

第1 教育委員会の活動状況

1 教育委員会委員名簿

| 職 | | 氏 | 名 | ĺ | 任 期 | | | | | |
|------------|----|---|---|---|------|------------|---|--|--|--|
| | | | | | 就任月日 | | | | | |
| 委 員 | 長 | 番 | 坂 | 啓 | 介 | H2. 10. 1 | H22. 10. 1∼H26. 9. 30 | | | |
| 委員長職務 者 | 代理 | 尾 | 内 | 幸 | 男 | H17. 7. 1 | H23. 10. 1~H27. 9. 30 | | | |
| 委 | 員 | 澤 | 谷 | 敦 | 美 | H22. 1. 1 | H22. 1. 1~H25. 9. 30 H25. 10. 1~H29. 9. 30再任 | | | |
| 委 | 員 | 堀 | | 英 | 夫 | H24. 10. 1 | H24. 10. 1~H28. 9. 30 | | | |
| 委員(教育 | 長) | 兜 | | 賢 | _ | H23. 7. 1 | H24. 10. 1~H28. 9. 30 | | | |

2 教育委員会議等の開催状況等

| 項目 | 教育委員会議 | | ⊞Ţ | 議 | 会 | | 学校行事・学校訪問等 |
|-------|--------|---|----|---|---|---|------------|
| 回数・件数 | 8 🛛 | 7 | | • | 9 | В | 27 件 |

3 教育委員会議議案、報告・審議内容

| 開催日 | 件名 |
|--------------|---|
| 第3回 | (報告)・幌延町立学校編成及び教職員の配置状況について(審議) |
| 4月12日 | ・幌延町社会教育委員兼幌延町生涯学習センター運営審議会委員の委嘱に ついて |
| | ・平成25年度幌延町社会教育推進計画について |
| | ・幌延町スポーツ指導委員の委嘱について |
| | (報告) |
| | ・幌延町社会教育委員会外部評価委員の委嘱について |
| | ・幌延町社会教育指導員の委嘱について |
| ☆ 4 □ | (審議) |
| 第4回 5月30日 | ・幌延町第6次社会教育中期計画策定委員会設置要綱の設定について |
| 07300 | ・幌延町第6次社会教育中期計画策定の諮問について |
| | ・幌延町立学校評議員の委嘱について |
| | ・平成25年度教育費補正予算の要求について |
| | ・平成25年度教育行政の概要報告について |

| 開催日 | 件名 |
|----------------|---|
| 第5回 7月24日 | (審議) ・幌延町教育委員会と旭川方面天塩警察署との連携に関する変更協定書の締結について ・平成25年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について |
| 第6回8月26日 | (報告) ・幌延町立学校教職員の人事異動について ・幌延町第6次社会教育中期計画策定委員の委嘱について(審議) ・平成26年度小学校用教科用図書の採択について ・平成25年度教育費補正予算の要求について ・平成25年度教育行政の概要報告について |
| 第7回 10月1日 | (報告)・教育委員の任命について・幌延町就学指導委員会委員の委嘱について(審議)・委員長の選挙について・委員長職務代理者の指定について |
| 第8回 12月4日 | (審議) ・平成24年度教育事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価について ・幌延町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の設定について ・平成25年度教育費補正予算の要求について ・平成25年度教育行政の概要報告について |
| 第 1 回 2月18日 | ・問寒別生涯学習センター建設工事基本計画について ・幌延町総合体育館非構造部材強度確認業務について ・平成25年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定報告について ・平成25年度特別支援教育就学奨励費支給区分の決定報告について (審議) ・幌延町社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の設定について ・消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例 の設定について ・平成25年度教育費補正予算の要求について ・平成25年度教育行政の概要報告について ・平成26年度教育青当初予算の要求について |
| 第2回 3月25日 | (審議) ・幌延町立学校教職員の人事異動について ・幌延町教育委員会事務局職員の発令について ・幌延町生涯学習アドバイザーの委嘱について ・平成26年度幌延町奨学生候補者について ・幌延町奨学生償還金減免について ・平成26年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について |

| 開催日 | 件 | 名 |
|--------------|-----------------------------|-----------------|
| ⇔ ○ □ | ・平成26年度幌延町学校給食費改定につ | いて |
| 第2回 3月25日 | ・幌延町学校給食共同調理場設置条例施 定について | 行規則の一部を改正する規則の設 |

4 教育委員会教育委員の主な活動状況

- (1) 平成25年度幌延町公立学校新任教職員着任式(町役場) H25.4.4
- (2) 北海道町村教育委員会連合会総会(札幌市) H25. 5. 14~H25. 5. 15
- (3) 新任教職員町内視察研修・懇談会(町内・町役場) H25.5.17
- (4) 宗谷管内市町村教育委員会連絡協議会総会(稚内市) H25. 5. 22
- (5) 北海道市町村教育委員研修会(札幌市) H25.7.10~H25.7.11
- (6) 宗谷管内市町村教育委員研修(幌延町) H25.10.17~H25.10.18
- (7) 平成26年幌延町成人式(国際交流施設) H26.1.5
- (8) 議会関係 議会定例会(4回)、臨時会(3回)

(9) その他関連事業

| 区分 | 入 学 式 | 運動会等 | 学 芸 会 等 | 卒 業 式 |
|-----------|-------|-------|---------|-------|
| 幌 延 小 学 校 | 4月6日 | 6月18日 | 10月20日 | 3月20日 |
| 幌 延 中 学 校 | 4月6日 | 6月1日 | 10月6日 | 3月14日 |
| 問寒別小中学校 | 4月6日 | 5月26日 | 10月6日 | 3月15日 |

5 教育委員会関連委員会の活動状況

(1) 社会教育委員

① 第1回社会教育委員会議

期日 平成25年5月28日

内容 平成25年度社会教育推進計画について ほか

② 第2回社会教育委員会議

期日 平成26年1月28日

内容 幌延町生涯学習センターの管理運営について ほか

③ 第3回社会教育委員会議

期日 平成26年3月25日

内容 平成25年度社会教育事業の実施状況について ほか

(2) 文化財専門委員

① 第1回文化財専門委員会議

期日 平成25年9月24日

内容 平成25年度事業計画について ほか

② 第2回文化財専門委員会議

期日 平成26年3月27日

内容 平成26年度事業計画(案)について ほか

(3)スポーツ推進委員

① 第1回スポーツ推進委員会議

期日 平成25年5月13日

内容 平成24年度社会体育事業実施一覧及び平成25年度社会体育事業計画に ついて ほか

② 第2回スポーツ推進委員会議

期日 平成25年12月12日

内容 社会体育事業中間報告について ほか

(4) 学校給食センター運営委員

① 第1回学校給食センター運営委員会議

期日 平成26年3月19日

内容 平成25年度学校給食会会計収支決算見込みについて ほか

6 教育委員会が交付した補助金一覧

(1)総務学校グループ

| 補助事業者 | 補助金額 |
|-------------------|--|
| 幌延中学校父母と先生の会 | 512, 780円 |
| 問寒別小中学校PTA会 | 46, 361円 |
| 幌延町教育研究所 | 776,000円 |
| 幌延町立幌延小学校 | 110,000円 |
| 幌延町立幌延中学校 | 110,000円 |
| 幌延町立問寒別小中学校 | 110,000円 |
| 幌延町立問寒別小中学校 | 0円 |
| 幌延町立問寒別小学校(隔年実施) | 0円 |
| 幌延町立問寒別中学校 (隔年実施) | 321, 327円 |
| 幌延町学校給食会 | 300,000円 |
| | 幌延中学校父母と先生の会問寒別小中学校PTA会幌延町教育研究所幌延町立幌延小学校幌延町立幌延中学校幌延町立問寒別小中学校幌延町立問寒別小中学校幌延町立問寒別小中学校幌延町立問寒別小学校(隔年実施)幌延町立問寒別中学校(隔年実施) |

(2) 社会教育グループ

| 補助事業名 | 補助事業者 | 補助金額 |
|---|----------------|----------|
| 幌延町PTA連合協議会事業 | 幌延町PTA連合協議会 | 80,000円 |
| 幌延町内会女性部連絡協議会活動事業 | 幌延町内会女性部連絡協議会 | 230,000円 |
| 幌延町文化協会運営事業 | 幌延町文化協会 | 240,000円 |
| 幌延町子ども会育成連絡協議会事業 | 幌延町子ども会育成連絡協議会 | 300,000円 |
| ワラベンチャー問寒クラブ事業 | ワラベンチャー問寒クラブ | 135,000円 |
| 幌延町体育協会活動補助事業 | 幌延町体育協会 | 467,000円 |
| 幌延スポーツ少年団本部活動補助事業 | 幌延町スポーツ少年団本部 | 125,000円 |
| 幌延町スポーツ少年団(剣道)全道大会出場 補助事業(第62回北海道少年剣道錬成大会及 び第55回赤胴少年剣道錬成大会) | | 28,000円 |
| 幌延町スポーツ少年団(剣道) 全道大会出場 補助事業 (第28回北海道スポーツ少年団剣道 交流大会) | 幌延剣道スポーツ少年団後援会 | 21,000円 |

第2 平成25年度幌延町教育委員会点検・評価書

1 幌延町学校概要

| 区分 特色ある教育活動、経営の重点 学校教育の充実 「幌延小学校 〇学校の教育目標 かしこい子 やさしい子 たくましい子 〇年度の重点 ~「輝き」「笑顔」「元気」いっぱいの学校づくり~ ・輝きいっぱい~自分のよさを発揮し、得意分野を拓く |
|--|
| 子校教育の発美 ○学校の教育目標 かしこい子 やさしい子 ク年度の重点 ~「輝き」「矢顔」「元気」いっぱいの学校づくり~ |
| ・笑顔いっぱい~いつも元気な挨拶と思いやりの心 ・元気いっぱい~夢や希望を持ち、意欲的にチャレンジ 「幌延中学校 〇学校の教育目標 「郷土を愛し、たくましく、心豊かな生徒」 1 健康な生徒 2 よく学ぶ生徒 3 思いやりのある生徒 〇年度の重点 ~学力と自治力の向上~・自ら進んで学ぶ生徒・きまりを守り、明るく健康な生徒・・きまりを守り、明るく健康な生徒・・心豊かで、思いやりのある生徒 「問寒別小中学校 〇学校の教育目標 強い身体~健康で明るく、たくましく生きる実践力をもつ子供 高い知性~自ら学び、考えを深め問題を解決できる子ども 豊かな心~自然を愛し、豊かな感性と思いやりの心をもつ子ども ○年度の重点 ~自ら成長を目指す教育活動の推進~ |

・望ましい生活習慣による健康増進と体力・運動能

力の向上

•学校教育

子どもたちが心身ともに健康な人格者として成長して行けるよう「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」など、知・徳・体が調和する「生きる力」を育む場として教育活動を進める。

幌 延 町 学 校 概 要 (平成25年4月30日)

○ 幌延町の小中学校の児童、生徒数、教員の配置状況は以下のとおりで、少子化の中ではありますが、未 就学児の人数が多く、平成27年度以降の児童生徒数は増加が見込まれる。

| | | 学組 | 及数 | | | į | 教職員 | 員数 | | | | 児童・生徒数 (下段:特別支援内数) | | | | | |
|--------|------|----|------|--------------------|--------------|------|------|------|------|----|-----------|-----------------------|-----------|--------|-----------|----------|-----|
| 学校名 | へき地級 | 普通 | 特別支援 | <u>校</u> 普 通 | <u></u> 特別支援 | 加配教諭 | 養護教諭 | 栄養教諭 | 事務職員 | 計 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
| 幌延小学校 | 1級 | 6 | 4 | 9 | 5 | 2 | 1 | 1 | 1 | 19 | 22 (1) | 25 (4) | 18 | 21 (1) | 18 (1) | 19 | 123 |
| 問寒別小学校 | 3級 | 3 | 2 | 4 | 2 | | 1 | | 1 | 8 | 2 (1) | 3 | 1 | 1 | 1 | 5 (1) | 13 |
| 幌延中学校 | 1級 | 3 | 2 | 9 | 2 | 2 | 1 | | 1 | 15 | 13 | 10 (1) | 15 (1) | | | | 38 |
| 問寒別中学校 | 3級 | 2 | 1 | 6 | 1 | | | | | 7 | 1 | 4 | 9 (1) | | | | 14 |
| 計 | - | 14 | 9 | 28 | 10 | 4 | 3 | 1 | 3 | 49 | 38 (2) | 42 (5) | 43 (2) | 22 (1) | 19 (1) | 24 (1) | 188 |

※ 年度別児童生徒予定者数 (単純算出)

| 年度 学校名 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 幌延小学校 | 120 | 121 | 128 | 130 | 138 | 137 | 138 |
| 問寒別小学校 | 13 | 9 | 9 | 10 | 14 | 11 | 12 |
| 幌延中学校 | 38 | 42 | 50 | 58 | 55 | 62 | 62 |
| 問寒別中学校 | 14 | 10 | 7 | 7 | 3 | 5 | 6 |
| 計 | 185 | 182 | 194 | 205 | 210 | 215 | 218 |

2 学校教育の充実

| 担当課 | | 総務学校グループ | | LIA | 方向性 |
|-------------------|----------------|---|---|--|-------------------|
| 区分 | 執行方針要点 | 個別事業名 | 事業内容 | 点検・評価と課題 | (拡大、継続、改善、縮小、廃止) |
| 学校教育の充実 ・確かな学力の向上 | ・個に応じた指導方法工夫改善 | ・定数加配によるTT(ティーム・ティーチンク゚)の推進(幌小2名加配) ・きめ細かな指導の充実 ・情報機器の活用 ・基礎、基本の繰返し学習、TTの導入、複式教育の授業技術の向上 | ・複数教員による少人数指導を実践した。 (幌小:全学年 国語、算数と6年理科の追加) (問小:5・6年 理科・算数) ・基礎、基本の反復繰返し指導 ・発表を中心とした表現力の育成に力を入れた。 ・掲示物、視覚的教材など工夫が図られた。 ・朝の活動タイム(漢字、計算、音読等)を工夫した。 | 継続・加配要望 | |
| | | ・学習成果の活用 | ・全国学力、学習状況調査の結果分析・各学校 学校改善プランの作成 | ・調査結果の分析を行い、目標、改善方法、実施計 画、評価方法を示し、日常学習における改善方法 と工夫を図ることができた。 | 継続・継続要望 |
| | | ・教職員研修の実施 | ・幌延町教育研究所・幌延町内3校校内研修 各校校内研究主題 幌小~ 「思い」を豊かに表現する子供 を軸にした育成 | ・共同研究組織としての実践研究・・・各教科部会研究 ・各学校の校内研究課題の研究を推進した。 ・個人研究の推進を図った。 | 継続 ・研究費の確 保 |
| | | | 幌中〜 全ての子どもに確かな学力をつける授業実践の研究問小中〜 確かな学力を身につけ 豊に表現できる子どもの育成 | | |
| | | ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, | ・若手教員への授業づくりや理科の実験の方法など について指導を行い授業力が高まった。 | ・事業の継続 要望 | |
| | | ・学校訪問の実施 | 義務教育指導監、指導主事の訪問要請を行い、学校経営、教育課程、校内研究、学習指導及び児童・生徒指導等への指導・助言の実施 | ・教育課題・学習指導等について研究協議をし、教 職員の指導力の向上が図られた。 | 継続 ・授業力の向 上 |

| 4 | 担当課 | 総務学校グループ | | | 方向性 |
|------------------|---------------------------------------|---|---|---|----------------------------------|
| 区分 | 執行方針要点 | 個別事業名 | 事業内容 | 点検・評価と課題 | (拡大、継続、改善、縮小、廃止) |
| 学校教育の充実 ・豊かな心の育成 | ・道徳教育の充実 | ・よりよい生き方の自覚を促す道徳教育 ・体験活動の推進 ・自らの表現する力、言語感覚の基礎を育てる ・豊かな人間性や社会性を育む ・心のノートの効果的活用 | ・日常生活での約束や決まりを守る行動、態度を養う生徒指導を進めた。 ・副読本、教材の効果的活用を図った。 ・人、物、動植物を大切にする気持ちを育てた。 | 継続・挨拶、返事 返礼への働き かけ | |
| | ・読書活動の推進 ・奉仕、体験活動の推進 ・地域との連携 ・総合学習の推進 | ・読書活動の推進 | ・児童生徒用図書の購入 小学校費 376千円 中学校費 402千円 ・蔵書数(3月末現在) 幌小 5,120冊 問小 3,399冊 幌中 5,437冊 問中 4,222冊 計 18,178冊 ・始業前の一斉読書活動を実施 | ・学校図書室の整備をとおし、豊かな感性や情操教育を育むための読書指導に取組むことができた。 休み時間、自由時間の利用、低学年からの図書室利用、環境作りの推進を図った。 | 継続 ・学校での読 書習慣の育成 と環境づくり |
| | | ・地域との連携 | ・町内の清掃ボランティアや北星園・こざくら 荘との交流を実施 ・クリーン作戦、車椅子体験、農業体験の実 ・もちつき集会活動の実施 | ・社会性や規範意識、思いやりの心など豊かな人間性を育むことができた。 ・地域との連携、学校の地域開放、交流活動を進めることができた。 | 継続 |
| | | ・ 子どもの心サポート相談員 配置 | ・児童生徒の悩み、ストレス等を和らげることができる第三者の配置 ・1日3.5時間、週3日、年40週 ・平成14年度から幌中に1名配置 ・実績 409時間 | 親や担任以外の人との係わりで悩み、不安を解消して行く環境づくりを進める。 学校教育計画と相談員体制づくりの推進を図っていく。 相談員の人材確保が難しい。 不登校・別教室登校の生徒の話し相手になることにより不安を和らげ、登校に結びつけた。 | 継続・相談員の確 保 |

| 担当課 | | 総務学校グループ | | | 方向性 |
|-----------------|------------------------|---------------------------------------|--|---|------------------------------|
| 区分 | 執行方針要点 | 個別事業名 | 事業内容 | 点検・評価と課題 | (拡大、継続、改善、縮小、廃止) |
| 学校教育の充実 ・豊かな心の育 | ・豊かな心の育成 | ・地域と教育活動 | 総合的学習を中心に自然環境、社会環境、人材活用を充実させる事業の推進 ・学校園活用 ・農業体験学習 ・老人福祉施設訪問 ・森林教室 ・川の観察会 ・理科教室 | ・自然や農業に係わり、触れ合う体験の機会 ・酪農体験実習、搾乳実習 ・食料生産の理解を深める。 ・福祉施設交流では、お年寄りへの親しみ、思いやりを育てる機会となった。 ・草花、樹木、川の観察調べでは、自然の大切さ、環境保全への意識化を図ることができた。 ・外部講師の適切な活用を図る。 | 継続 ・外部講師等 の協力体制の 確立 |
| | ・ 安全教育、安全な環 境づくりの推進 | ・ 安全、安心で健やかな学 校、地域 | ・青少年健全育成連絡協議会 年2回開催 各学校、民生委員、PTA、駐在所、補導 員、町内会、商工会、老人クラブ、子ども 会、交通安全、飲食店、教育委員会他 | ・ 青少年健全育成連絡協議会の定期開催や関係会員 との情報交換を行い、課題等を共有することがで きた。 ・ 夏季、冬季休業中の生活心得を確認した。 | 継続 ・関係機関、 地域との連携 |
| | ・特別支援教育の推進 | ・特別支援教育支援員配置 | ・幌延小学校 2名配置 | ・支援員の設置により新入学児童が早期に学校生活に慣れ、スムーズな学級経営を図ることができ、 また他の支援を要する児童についても適切な指導 をすることができた。 | 継続 ・支援員の配 置 |
| | | 特別支援教育連携協議会の 活動 | ・特別支援教育連携協議会の設置、運営 ・教育相談 7回 ・特別支援教育専門部会議 1回 ・特別支援学級 小中9学級 | ・特別支援連携協議会の設置により、児童生徒の実態や関係機関による情報の共有が図られ、支援学級での障害の種類や程度に応じた適切な指導が行われた。 | 継続 |
| | ・信頼される学校づくり | ・学校評議員の設置 ・学校外部評価の実施 | ・学校評議員の配置による、学校運営に対する 地域の意見の反映、評価 ・委嘱人員14名(幌小5名、問寒別小中5名、幌 中4名) ・学校運営、確かな学力、教育課程、学習指 導、家庭との連携他 | ・学校評議員の配置により、保護者とは違う視点からの意見や情報を得ることができ、実態に応じた学校運営が図られた。・児童生徒の安全、健康、生活対応への意見交換が行われた。 | 継続 ・学習成果の 確認と内容の 充実 |

| 1 | 担当課 | 総務学校グループ | | | 方向性 |
|---------|-------------|--|---|--|-----------------------------|
| 区分 | 執行方針要点 | 個別事業名 | 事業内容 | 点検・評価と課題 | (拡大、継続、改善、縮小、廃止) |
| 学校教育の充実 | ・信頼される学校づくり | (学校評議員の設置) | ・町学校管理規則の改正 平成14年4月1日施 行、6月1日委嘱開始 5人以内、任期1年(再 任可) | | |
| | | ・教職員評価の取り組み 市町村立学校職員の評価に 関する要領一北海道教育委 員会教育長決定 | ・平成20年4月1日施行 学校教育目標や経営方針、重点を踏まえ年間の自己目標等を設定。・当初面談、中間面談、最終面談の実施を通して課題解決に向けた取り組みを進める。 | ・自己評価、指導助言者からの助言を受け、1年の成果、課題を明らかにし、次年度の目標、取り組みに繋げることができた。 | 継続 |
| | | ・情報公開の推進 | ・父母参観の他、地域参観日の設定や地域交流の実施・学校だよりや学年・学級通信を定期的に発行 | ・地域授業参観等を通して、保護者や地域に開かれた学校づくりを推進し、教育活動の理解が図られた。 | 継続 ・開かれた学 校の推進 |
| | | ・情報教育の推進 | ・情報教育センターの運営、研究推進 ・教職員へのパソコン研修の開催 ・学校間交流授業の実施 ・町民向け講座の開催 ・電子黒板を活用した公開授業の実施 ・インターネットを利用した調ベ学習 | ・児童生徒が情報社会に生きるための基本的情報活用能力の育成を図った。 ・情報機器を活用した授業の計画的、効果的取り組みと機器操作できる教師を育成した。 ・視覚に訴える「わかる授業」の展開を図った。 ・電子黒板等の定期的な研修会開催が必要。 ・町民向け講座は、開催できなかった。 | 継続 ・情報教育環 境の整備 |
| | ・生きる力の育成 | ・特色ある教育活動の推進 | ・小中併置による9年間の一貫指導 ・情報機器を活用した環境づくりと学習活動 ・もちつき集会事業(豊かな心の育成)の実施 ・交流、ボランティア活動の実施 ・福祉施設の訪問 ・総合学習、職場体験の実施 | ・全児童生徒が縦割りの集団活動で小中高学年に積極的な行動を促すことができた。 ・情報機器の効果的活用により、基本的な情報活用能力の育成に繋がった。 ・町内福祉施設との交流を図った。 ・職場体験(幌中:稚内9事業所、問中:町内8事業所) | 継続 ・地域交流と 教育実践の推 進 |

| 担当課 | | 総務学校グループ | | | 方向性 |
|------------------|-------------------------|---|--|--|-------------------------------|
| 区分 | 執行方針要点 | 個別事業名 | 事業内容 | 点検・評価と課題 | (拡大、継続、改善、縮小、廃止) |
| 学校教育の充実 ・生きる力の育成 | ・体験活動、自然体験、ボラン ティア活動 | ・クリーン作戦(各校)の実施 ・川の自然観察会の実施 ・町内の各事業所職場訪問の実施 ・農業体験活動の実施 ・ふるさと地域学習 | 体験活動を通して、進んでやりぬく気持ちを養い、栽培の知恵を学び、農作業の大変さ、感謝の気持ち、収穫の喜びを感じる事ができた。 障がいを持つ人たちのくらし、環境、バリアフリーについて理解を深めた。 | 継続・地域の学び・人材活用・成果の共有 | |
| | | ・国際理解教育の推進 | ・小学校外国語(5·6年)・総合的学習(3・4年)、中学校教科学習時間によるALT(外国語指導助手)の活用、近隣町村の人材活用 | ・ A L T や近隣の外国の生活経験のある講師を招へいし、日常会話など簡単なコミュニケーション能力の育成、異文化に親しむ事ができた。 | 継続 ・ALT、外 部講師の効果 的活用 |
| | | | ・生きた語学を学ぶ機会の提供 ・外部講師 22回 ・宗谷教育局配置ALT派遣 26回 | | |
| | ・健やかな体、心の育成 | ・少年少女陸上記録会 ・少年少女文化祭 | ・少年少女陸上記録会の実施・少年少女文化祭の実施 | ・自己記録の更新に挑戦した。 ・町内児童の交流をした。 ・作文、絵画、工作作品等の日頃の成果を発表しあい、作品交流をした。 | 継続 ・児童交流と 記録への挑戦 |
| | | • 中体連部活動支援 | ・中体連部活動支援 幌延中学校(陸上、バドミントン、吹奏楽、 剣道、スキー) | ・部活動は学年や学級の所属を離れ、共通の目的を 持って活動するところで、集団活動を通して健全 育成、体力の向上、生きる力の向上、また教師と 生徒、生徒同士の人間関係を築く事ができた。 | 継続 |
| | | 問寒別中(陸上、男子卓球、男女バドミント ン) | ・生徒数の減少により、団体競技の活動が難しく なってきている。 | | |
| | ・健康教育 | ・学校給食の円滑実施 | ・運営委員会による給食センターの計画、運営 の審議等 ・学校給食会による収支予算計画、決算の審議 ・学校による保護者ふれあい給食会の実施 | ・安全で充実した学校給食の提供を図った。・学習参観日にふれあい給食会を実施した。・アレルギー対象児童生徒への対応と栄養管理に努めた。 | 継続 ・安心安全な 給食の実施 |

| 担当課 | | 総務学校グループ | | | 方向性 |
|---------|----------|-------------|--|---|--|
| 区分 | 執行方針要点 | 個別事業名 | 事業内容 | 点検・評価と課題 | (拡大、継続、改善、縮小、廃止) |
| 学校教育の充実 | ・健康教育 | ・食育の推進 | ・学校栄養教諭の配置 ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣の普及 (平成17年4月~栄養教諭制度の創設、施行) | ・栄養教諭配置で、食育指導体制が進んだ。・食への感謝、食事のマナー、食習慣の見直し・元気な体づくりと食習慣の大切さを理解させる事ができた。 | 継続 ・嫌いなもの へのチャレン ジ、マナーの 指導 |
| | | ・給食施設、設備の整備 | | | 継続 ・適正な維持 管理 |
| | ・教育環境の充実 | ・学校施設の整備 | ・各学校ホームページ作成業務 1,470千円 ・各小中学校保全計画策定事業 10,290千円 ・幌延小学校体育館音響設備部分改修 776千円 ・幌延小学校給食運搬用昇降機電気廻り改修 1,127千円 ・各小中学校トイレ衛生設備改修事業 | ・各学校について、計画的な改修が必要。 ・安心安全で、環境にやさしい学校づくりを推進し た。 | 継続 ・施設、設備等の計画的環境整備 ・適正な維持管理 |
| | | ・スクールバスの整備 | 77, 322千円 ・スクールバス整備事業 | | 継続 ・計画的整備 |
| | | ・教職員住宅の整備 | 教員住宅修繕 2.662千円 | ・安心、安全な生活環境を整えた。 | 継続 ・計画的環境 整備 |

3 幌延町社会教育施設の利用状況

| 区分 | 特色ある教育活動、経営の重点 | ・社会教育の推進 学ぶ意欲、学ぶ心を育る 機会を設定し、ふるさと学 | | | | | 応した学習 | 情報や学びの |
|----------------------------|--|---|-------------------------|--------------------|-------------------------|------------------|---------------------------|-----------|
| 社会教育 | 幌延の今を知るための学びの場づくり | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 延町社会教育旅 | 施設の利用 ^料 | | 25年度実績) | | |
| -第5次中期計画(H20 ~25)スローガン- | ・学習意欲を高める情報提供に努める ・幌延での多様な学習機会を提供する | 施設区分 | 件数和 | 利用人数 | 平成24年 件 数 | 度実績 利用人数 | 増 件数 | 減 利用人数 |
| 学び・参画・挑戦! | ・利用しやすい施設運営を推進する | 幌延町生涯学習センター | 672 件 | 7, 201 人 | 723 件 | 6,677 人 | ▲ 51 件 | 524 人 |
| 次代を創る人づくり | Ⅱ 町や地域の営みに参画できる仕組みづ | 問寒別生涯学習センター | 221 件 | 3, 478 人 | 200 件 | 5, 196 人 | 21 件 | ▲ 1,718 人 |
| | くり ・文化、スポーツ活動を充実する | 総合体育館 | 346 ⊟ | 16,699 人 | 348 ⊟ | 17, 383 人 | ▲ 2 日 | ▲ 684 人 |
| | ・家庭、地域の子育て支援を推進する ・地域のボランティア人材を育成する | 学事 幌 延 小 学 校 | 70 件 | 1,388 人 | 39 件 | 887 人 | 31 件 | 501 人 |
| | ・住民の社会参加活動を促進する | 校 幌 延 中 学 校 | 117 件 | 542 人 | 74 件 | 514 人 | 43 件 | 28 人 |
| | │ │││ 子どもたちの自立、自律を促す環境づ | 放業問寒別小中学校 | 65 件 | 779 人 | 59 件 | 643 人 | 6 件 | 136 人 |
| | くり ・体験、交流活動を推進する | 金田心象書道美術館 | 300 ⊟ | 227 人 | 295 ⊟ | 203 人 | 5 ⊟ | 24 人 |
| | ・地域を知る学習機会を提供する ・ボランティア活動を推進する | 郷土資料展示室 | 244 ⊟ | 111 人 | 244 ⊟ | 127 人 | 0 日 | ▲ 16 人 |
| | ・町外研修への参加を支援する | 幌 延 図 書 室 | 357 ⊟ | 3, 191 人 | 350 ⊟ | 3,568 人 | 7 ⊟ | ▲ 377 人 |
| | IV 次代に向けて挑戦し続ける風土づくり | 問 寒 別 図 書 室 | 353 ⊟ | 164 人 | 353 ⊟ | 171 人 | 0 日 | ▲ 7人 |
| | ・協働による生涯学習を促進する ・女性の社会参加を促進する | 幌 延 町 民 プ ー ル (6月~9月) | 100 ⊟ | 2,979 人 | 100 ⊟ | 3,036 人 | 0 🖯 | ▲ 57 人 |
| | ・コミュニティ活動を活性化する ・スポーツと健康づくりを推進する | 問 寒 別 町 民 プ ー ル (7月~9月) | 53 ⊟ | 377 人 | 51 ⊟ | 455 人 | 2 日 | ▲ 78 人 |
| | | 東ヶ丘スキー場 | 55 ⊟ | 33,619 人 | 64 ⊟ | 32,828 人 | ▲ 9 日 | 791 人 |
| | Ⅴ 学習活動の拠点づくり ・生涯学習センター運営体制を整備する | (団体利用) パークゴルフ場(1日券) (シーズン券) | 17 件 1,045 枚 51 枚 | 483 人 1, 045 人 | 20 件 1,059 枚 67 枚 | 657 人 1,059 人 | ▲ 3 件 ▲ 14 枚 ▲ 16 枚 | ▲ 174 人 |
| | | 野 球 場 | 58 件 | 1,524 人 | 64 件 | 1,952 人 | ▲ 6件 | ▲ 428 人 |
| | | ゲートボール場 | 98 件 | 1, 176 人 | 111 件 | 1,341 人 | ▲ 13 件 | ▲ 165 人 |
| | | 球 技 場 | 33 件 | 674 人 | 43 件 | 1,085 人 | ▲ 10 件 | ▲ 411 人 |
| | | | | | | | | |

4 社会教育 学び、参画、挑戦!次代を創る人づくり

| 担当課 | | 社会教育グループ | | | 方向性 |
|--------------------------------|------------------------|----------------|--|---|-----------------------------|
| 区分 | 執行方針要点 | 個別事業名 | 事業内容 | 点検・評価と課題 | (拡大、継続、改善、縮小、廃止) |
| 社会教育 学び・参画・挑戦! 次代を創る人づくり | ・幌延の今を知るための 学びの場づくり | ・学習意欲を高める情報提供 | ・町ホームページへの情報更新・社会教育だよりの発行・体育館だよりの発行・告知端末機を使用して、事業開催案内 | ・学びの意識を支え、地域の教育力の向上を図るため、情報提供する効果は大きく、必要性は高い。 | 継続 ・告知端末機 の効果的活用 |
| | | ・学習相談体制づくり | ・生涯学習アドバイザーの委嘱(H18.4.1~ 学習支援、相談、情報提供する環境づくり | ・幌延町の特性を生かし、主催事業の講師や町民の 生涯学習活動を支援。 ・サロベツに生きる動植物を中心に、その生態、繁殖、四季の移り変わりをデータ収録。 | 継続・地域人材と 学習アドバイ ザー |
| | | ・学習機会の提供 | ・ふるさと自然体験チャレンジ事業の実施 ホタル観賞会、地引網&海釣り体 験、カヌー体験、渡り鳥観察会、ス ノートレッキング、雪と遊ぼう ・ワラベンチャー問寒クラブ事業 | ・ふるさとの自然や歴史、文化に親しむことができた。・自分の住む地域を再発見し、大切にする心を育てることができた。・郷土を愛し、誇りに思う心を育むことができた。 | 継続・ふるさと・ 地域・人を愛す心の育成 |
| | | | ・書道文化の振興と心象館の活用 書道研修 年 10回開催 書道教室 年 10回開催 | ・書道研修事業(小中学生19年目)を通して、書道 文化の振興を図ることができた。 ・心象館(幌延町名誉町民金田心象先生の足跡と作品 紹介)の施設運営と入館者の拡大。 | 継続 ・町の財産と 書道文化の推 進 |
| | | | ・高齢者生きがい教室の開催 年6回開催 映画鑑賞「北の零 年」、唄語り「辻村達生 公演&ライ ブ」 等 | ・定期的な開催により、学習や語らいの場を提供した。 | 継続 |
| | | ・利用しやすい施設運営の推進 | ・教育、文化、スポーツ施設の適正な管理運営の推進 | ・ 社会教育施設の適正な管理運営に努めた。 (利用状況参照) | 継続 |

| 担 | 当課 | 社会教育グループ | | | 方向性 |
|--------------------------------|----------------------|---------------|--|--|------------------------------|
| 区分 | 執行方針要点 | 個別事業名 | 事業内容 | 点検・評価と課題 | (拡大、継続、改 善、縮小、廃止) |
| 社会教育 学び・参画・挑戦! 次代を創る人づくり | ・町や地域の営みに参画できる仕組みづくり | ・芸術、文化鑑賞機会の提供 | ・舞台芸術鑑賞事業 「1966カルテット」公演 ・親子ふれあい 人形劇団「えりっこ」公演 ・北海道文学館出前講座 人形劇「クレヨンカンパニー」公演 ・生涯学習講座兼生きがい教室 唄語り「辻村達生 公演&ライブ」 | ・日頃、芸術鑑賞機会が少ない地域性の中、舞台芸術に接し、感動や生きる力、地域の文化振興を図ることができた。 | 継続・芸術文化鑑賞機会の推進 |
| | | ・地域教育力の向上 | ・子育て支援、ボランティア人材登録と活用(幌延・問寒別) ・家庭教育サポート企業の登録 ・家庭教育の推進 | ・幌延、問寒別の地域子ども教室では、地域のボランティアスタッフによる身近な遊び交流等を通して、放課後の安全・安心事業を進めた。 ・ボランティアスタッフに研修機会を提供した。 ・家庭教育サポート企業(現在町内4社が道教委と締結)の啓蒙と企業の理解を深めていく。 ・家庭教育学級の開設と町PTA連絡協議会の研究大会との連携を進めた。 | 継続 ・人材保 ・地域の子育 て支援 ・家庭教育の 推進 |
| | | ・スポーツ施設等補修事業 | ・体育施設の整備と効率運営 野球場電気設備改修 7,560千円 東ケ丘スキー場リフト塗装 1,176千円 | ・計画的な施設整備と改修を進めた。・総合スポーツ公園の地盤沈下による改修は、今後も必要。 | 継続 ・安心安全な 施設機能の維 持 |
| | | | ・社会教育施設の整備・改修等 問寒別生涯学習センター基本設計 1,943千円 | ・基本構想をもとに基本設計を実施した。 | 継続 ・計画的な維 持補修・整備 |

| 担当課 | | 社会教育グループ | | 点検・評価と課題 | 方向性 |
|--------------------------------|-----------------------|----------------|--|--|---------------------|
| 区分 | 執行方針要点 | | 執行方針要点 | | (拡大、継続、改善、縮小、廃止) |
| 社会教育 学び・参画・挑戦! 次代を創る人づくり | ・子どもたちの自立を促 す環境づくり | ・子どもの健全育成の推進 | ・放課後子ども教室推進事業 地域の大人の協力で、子どもたちと ともに勉強やスポーツ・文化活動、 交流活動等の取り組みを推進する。 | ・小学生を対象に異年齢の児童55名の登録、24人のスタッフで、放課後の安心安全事業を進めた。 ・地域のボランティアと児童の交流が図られ、安心、安全な地域づくりに役立っている。 | 継続 ・地域の子育 て支援 |
| | | | 幌延小 42人、指導員 9人 開催42日 問寒別小 13人、指導員 7人 開催45日 (他 中学生ポラ 6名)道補助金 315千円 | ・子どもたちにケガや事故のないよう自主活動を見 守る安全指導員の確保が課題。 | |
| | | | ・ワラベンチャー問寒クラブ事業 ケモノ探し、カヌー教室、親子釣り大 会、スノーアドベンチャー体験 ・体験、交流活動の推進 ・ボランティア活動の推進 ・児童生徒、保護者、教職員、会に賛同する者 会員73名 | ・問寒別地域を中心にした自然体験活動。親子や地域交流、異年齢交流、そして問寒別の澄んだ川、風、雪を意識させ、成長期の子どもたちの心に「ふるさと」をしっかり根付かせる取り組みに対し、支援を行っている。 | |
| | ・次代に向けて挑戦し続ける風土づくり | ・コミュニティー活動の推進 | ・町民交流施設の利用促進 (利用状況参照)・幌延深地層研究センター 国際交流施設 の有機的活用 | ・誰もが気軽に集い、交流し地域づくりを行う拠点として、利用しやすい運営体制づくりを進めてきた。・参画と協働を支援する情報提供、読書資料等の充実を図らなければならない。 | |
| | | ・スポーツ活動の振興 | ・各種スポーツ団体との連携と育成 | ・スポーツ推進委員、スポーツ指導員、体育協会、 各種スポーツ団体との連携を図り、スポーツ教室 や各種大会の企画、実施をした。 | 継続 |
| | ・学習活動の拠点づくり | ・生涯学習センター 建設工事 | ・問寒別地区における生涯学習の拠点として、また災害時の避難施設としての機能 を有する施設を検討 | ・耐震性の低い問寒別生涯学習センターの建替え。 H26 実施設計 H27 建設工事 H28 供用開始 | 継続 • 実施設計 |

第3 点検評価に関する外部評価

1 外部評価者の意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定による教育に関し学 識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会が行った点検及び評価に対し、 次のとおり意見や助言をいただきました。

このことにより、点検及び評価の客観性を確保するとともに、いただいた意見等について、今後の施策、事業等に反映させてまいります。

2 点検及び評価に関する意見

富士元 寿 彦 氏(前幌延町教育委員会委員)

(1)教育委員会の活動状況について

平成 25 年度に於ける教育委員会議は、必要に応じた開催となっており、その都度適切な報告と議案の審議がなされていたと思います。教育委員会委員の活動状況につきましても、各種社会教育、学校教育行事や学校訪問、研修会等への参加が多数あり、積極的な活動が認められます。

社会教育委員等の教育委員会関連委員会の活動状況も、必要に応じて開催された会議と、事業等の適切な運営がなされていた事が認められます。

教育委員会が交付した補助金につきましては、総務学校・社会教育グループ共に各種事業の実施・運営に必要かつ適切なものだったと思います。今後も事業に必要な補助は続け、活動を支援してほしく思います。

(2) 主要施策・事業等について

学校教育では、各学校がそれぞれの学校教育目標に向けて、特色のある教育活動が実践されており、併せて学校教育の充実のために行われている個別事業の分野が多岐にわたり取組まれ、徐々に成果が表れてきている事業がある事を高く評価したく思います。また、各事業が継続の方向で進められているのも大変に好ましく思います。

社会教育では、対象者が大変幅広い年齢層にも拘らず、多岐にわたる各種施策・事業を 推進展開している事が高く評価できます。

社会教育第5次中期計画のスローガンだった「学び・参画・挑戦!次代を創る人づくり」 は最終年度でしたが、今後も新しい目標に向けたよりよい事業の推進展開を期待します。

(3)総合的な点検・評価について

教育委員会による点検・評価書は、活動・事業・評価と課題・方向性についての内容が、 簡潔にまとまっており、見て分かりやすいのが大変良いと思います。

(4)終わりに

教育委員会の事業と活動は多岐にわたる上、近年の厳しい教育情勢に加えて人口の減少と高齢化が進み続ける中、事業活動の執行や展開・運営は今後益々厳しくなるものと予想されます。と同時に、教育委員会の役割が益々重要になると思いますので、町民の多様なニーズに応えられる先を見据えた教育行政が推進されますことを願います。

高 木 健太郎 氏(北海道大学天塩研究林長)

(1)教育委員会の活動

平成 25 年度は、5 名の委員の方々が 8 回の教育委員会議、27 件の学校行事・学校訪問 の活動を行っており、確かな学力の推進、豊かな心と健やかな体の育成、特別支援教育の 推進、信頼される学校づくり、地域に触れて学ぶ教育の推進、教育環境の整備、子供たちの自律を促す環境づくり等の委員会活動に積極的に取り組まれていると思います。学校事業や地域社会教育グループへの補助事業を通じて、地域社会が一体となった教育やスポーツ育成に貢献していると思います。

(2) 主な事務事業などの点検、評価について

学校教育の充実に関する 9 項目、社会教育に関する 5 項目の主要な執行方針について、 概ね当初の予定通りの成果をあげていると思います。

個に応じた指導方法工夫改善では、幌延小学校で前年度+1名(計2名)の加配により、 ティームティーチングが充実し、個々の児童・生徒に応じたきめ細やかな指導を行うこと ができていると思います。特別支援教育の推進については、幌延小学校で特別支援教育支 援員2名が配置され通常学級での支援を行い、また特別支援学級では、障害の種類や程度 に応じたきめ細やかな指導が行われていると思います。今後の指導工夫改善において、教 員の加配が継続されることを望みます。

自然観察会や職場訪問、農業体験、福祉施設訪問などの体験型の授業は、豊かな心や生きる力を育成する上で貴重な機会となっていると思います。継続して学校間の交流や情報教育事業を通した外部との交流、地域交流事業との協同を充実していくことが必要であると考えます。

各学校のホームページの更新により、学校の近況が発信されるようになり、情報公開の 推進に役立っていると思います。また外部講師や外国語指導助手を活用した生きた語学を 学ぶ試みはコミュニケーション能力の育成や異文化に親しむ機会を提供することができるため、国際理解教育の推進に役立っていると思います。

(3)総合的に

点検評価報告書は執行方針要点毎に事業の内容と点検・評価、および今後の課題が整理されており、わかりやすいです。今後とも適切な情報公開を期待いたします。児童生徒の学力や社会性の向上のために、地域や家庭と協同した事業を継続して取り組んでいただければと思います。